

夢 塾 だ よ り

～ 経 験 の 差 ～

(第 62 号) 令和 4 年 9 月 26 日

「うさぎ」の『ハッピー』が我が家にやってきました。ピーターラビットのような茶色のウサギです。息子が 5 年近く飼っていましたが、彼の転勤準備のため、しばらくの間預かることにしました。

2 階のベランダにウサギ小屋を設置して、夜の就寝時のほかは、カラスなどの外敵に襲われないよう工夫をして、自由に動き回れるようにしています。

2 か月が経過しましたが、日増しにかわいくなっ
ていくから不思議です。

起床するとすぐに、小屋の小さなカギ栓をぬきます。と同時に、『ハッピー』は外に踊り出ます。私の足元を軽く鼻先でコンコンとつついた後、ぴよんとはねてコーナーまで走ります。自由に走り回り、迷路のような狭い道も素早く行き来します。

「彼女」の好きな居場所は、クーラーの室外機と壁との間のわずか 10 センチ足らずの狭い空間で、好きな食べ物は乾燥パパイアです。かわいらしいのは後ろ足で立ち、背伸びをする時のしぐさです。



「人はなぜペットを飼うのでしょうか？」という問いの答えには、色々あると思いますが、私はこう思います。

「それはペットを飼った人にしかわからない」
息子が 5 年間も飼っていた理由が今やっと分かりました。

どんなことでも「耳学問」だけでは、うわべをかすめるにすぎず、物事の神髄を知るには至らないものです。体験して初めて分かることがあり、その経験がやがては血となり肉となり、私たちの中に宿るようになるのでしょうかね。

9 年前に生後 1 か月で来た琉球犬『チャー子』に続いて 2 度目の出会い、『ハッピー』とのかわいい一日を楽しんでいます。